

平地栽培によるプリムラ・ポリアンサの 低コスト生産

埼玉県は全国第1位のプリムラ・ポリアンサの生産県です。早期出荷と高品質生産のため夏場に栃木県日光市の戦場ヶ原等で高冷地育苗を行っています。高冷地育苗は多大な費用と労力を必要とするため、冷蔵庫を利用した暗黒条件の低温処理方法を開発しました。低温処理の時期、期間、温度を検討した結果、品種‘セブンティ’の場合、8月に0℃で30日間の低温処理を行うと2ヶ月ほど開花を早めることが可能になりました。

- 1 低温処理の温度が高いほど開花は早まるものの、葉は黄化、徒長し、草姿がみだれた状態で開花します。0℃の場合、草姿が整った状態で開花します。

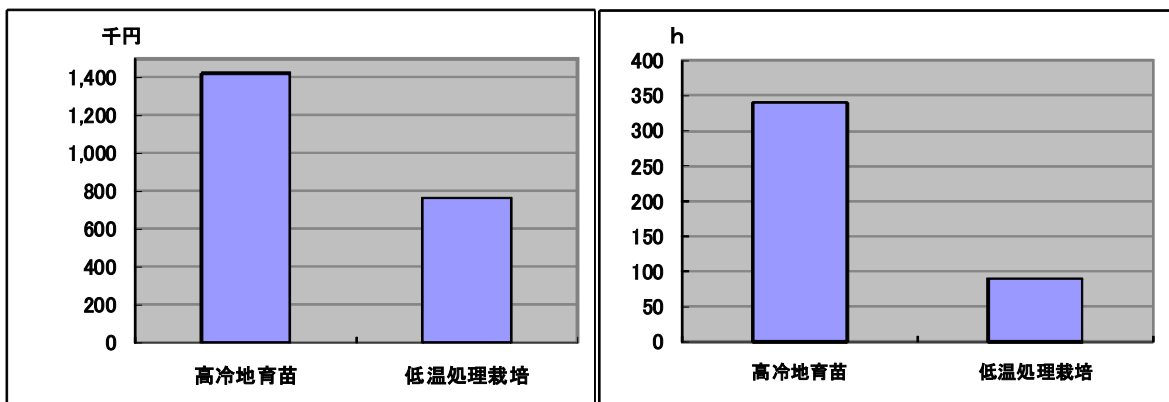


低温処理直後の株 左から、無処理、0℃、5℃、10℃



低温処理により開花した株 左から、10℃、0℃、無処理

- 2 高冷地育苗と比較し低温処理を行った場合、生産費と労働時間が大幅に削減されます。



夏越しに関わる10a当たりの生産費 夏越しに関わる10a当たりの労働時間

(園芸研究所 野菜・花担当 TEL 0480-21-1113)